

世界中から選抜された若手音楽家によるオーケストラ
兵庫芸術文化センター管弦楽団
定期演奏会

2024.9 ▶ 2025.8

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

20周年最初の演目はマーラー「千人の交響曲」

終戦80年の8月にはブリテン「戦争レクイエム」



HYOGO PAC Performing Arts Center **ORCHESTRA**

おかげさまでPACは2025年、設立20周年を迎えます。「アカデミー機能を持つプロオーケストラ」として2005年にゼロからスタートし、今や100名を超える卒団メンバーが国内外のオーケストラで活躍するまでの成長を遂げたのは、皆様の応援の力が非常に大きいと感じております。心より感謝申し上げます。

2024-25シーズンは、そんな記念すべき年を彩るにふさわしいラインナップをご用意しました。特に阪神・淡路大震災30年の日に祈りを込めて演奏する「千人の交響曲」、終戦から80年の夏に捧げる「戦争レクイエム」は、大編成のオーケストラに合唱を加えた桁違いのスケールを誇る作品で、私にとっても皆様にとっても特別な体験となることでしょう。他にもお馴染みの指揮者から初登場のソリストまで、多彩なアーティストとプログラムが揃っておりますので、ぜひ年間を通じて聴いていただければと思います。

皆様と共に劇場で20周年をお祝いできることを、心から楽しみにしております。

芸術監督 佐渡 裕



PACは世界中から選抜された若いメンバーによる、世界一フレッシュなオーケストラです!



兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC)は世界でも稀なアカデミー機能を持つオーケストラ。国内外のオーディションで選ばれた入団時35歳以下の音楽家たちが最長3年の在籍期間中に、定期演奏会やオペラ等の公演、ゲスト奏者によるコーチングを通じて、オーケストラ奏者としての腕を磨きます。現在はアジアや欧米など13ヶ国から集まった45名のメンバーが在籍。西宮から次のステップを目指して日々奮闘する若いメンバーたちを、ぜひ応援してください!

世界25カ国のプロオーケストラで活躍する116名の卒団メンバー

2024年
2月現在



第一線で活躍する卒団メンバーの声をご紹介します!



ラムルー管弦楽団 第2ソロ・ヴィオラ

田中 啓太 [2012.9 - 2015.8 在籍]

PACでの経験は、その後の自分の人生を大きく切り開いてくれました。豪華なゲストプレイヤーに刺激され、このままでは駄目だと思い、ヨーロッパで改めて勉強し直そうと決意したのもPACでの経験があったからです。退団後フランスに渡り、昨年佐渡監督とも縁のあるラムルー管弦楽団に入団しました。今後は現在のPACの皆さんと一緒に演奏し、このオーケストラを支えてくださる皆様に恩返しができることを願っております。



大阪交響楽団 フルート首席

三原 萌 [2019.9 - 2022.11 在籍]

PACでは宝物のような経験をたくさんさせていただきました。国内外で活躍される指揮者やゲストから学び、メンバー達とはより良い演奏のため、切磋琢磨する日々でした。また、満席のお客様に囲まれて演奏できる喜びは忘れられません。今ではPACのお客様が大阪響の演奏会へもいらしてください、とても嬉しく、励みになっております。これからもPACを応援していただきますよう、お願い申し上げます。

最新情報はこちら!
PAC公式ウェブサイト
[https:// hpac-orc.jp](https://hpac-orc.jp)



PACオーケストラの演奏をご自宅でも!
PAC公式YouTube 好評配信中!

・Meet-HPAC リサイタルホールから
・わくわくOnlineオーケストラ教室 桜瀬/バックのオーケストラってなんだろう?



(視聴無料)



Facebook
@HPACorchestra



X
@hpac_orchestra



Instagram
@hpac_orchestra

NO. 153

2024. 9/13金・14土・15日 3:00PM 開演



新シーズン開幕。佐渡裕×亀井聖矢の初タッグをお聴き逃しなく！

ロン＝ティボー優勝の快挙を成し遂げ、今もっとも勢いのあるピアニスト・亀井聖矢がPAC定期に初登場。美しさと超絶技巧が際立つ、ショパンのピアノ協奏曲第1番を演奏します。後半はブラームスが作曲した最後の交響曲、第4番。9月入団の新しいメンバーと共に名曲に挑みます。

ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11

Fryderyk Chopin: Piano Concerto No.1 in E minor, op.11

ブラームス：交響曲 第4番 ホ短調 op.98

Johannes Brahms: Symphony No.4 in E minor, op.98

亀井聖矢(ピアノ)

2022年、ロン＝ティボー国際コンクールにて第1位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の特別賞を受賞。日本音楽コンクール第1位、ピティナ特級グランプリなど、国内外での受賞を重ねている。現在、カールスルーエ音楽大学、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに在籍中。

NO. 154

2024. 10/18金・19土・20日 3:00PM 開演



世界屈指のチェリスト&生誕110年を迎える伊福部昭の交響曲

各地のオーケストラでますます活躍の場を広げる下野竜也が登場。前半はイタリアが誇るチェリスト、マリオ・ブルネロを迎えてのドヴォルザークのコンチェルト。後半はショスタコヴィチを弦楽合奏にて、そして伊福部昭がアイヌ文化から着想を得た交響曲「シンフォニア・タプカーラ」をお届けします。

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 op.104, B.191

Antonín Dvořák: Cello Concerto in B minor, op.104, B.191

ショスタコヴィチ：

「弦楽四重奏のための2つの小品」より 第1曲「エレジー」(弦楽合奏版)

Dmitry Shostakovich: No.1 "Elegy" from "2 Pieces for String Quartet" (for String Ensemble)

伊福部 昭：シンフォニア・タプカーラ

Akira Ifukube: Sinfonia Tapkaara

下野竜也(指揮)

鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年プザンソン国際指揮者コンクール優勝。以降、国際的な活躍が続いている。NHK交響楽団正指揮者。札幌交響楽団首席客演指揮者。広島ウインドオーケストラ音楽監督。広島交響楽団桂冠指揮者。

マリオ・ブルネロ(チェロ)

1986年国際チャイコフスキー・コンクールで優勝。以降、世界の舞台で活躍し、現在はソリストのみならず、イタリアのドロミテ音楽祭の芸術監督を務めるなど多彩な才能を発揮。近年はチェロ・ピッコロでの演奏も好み、バロックから現代に至るレパートリーが高く評価されている。

NO. 155

2024. 11/8金・9土・10日 3:00PM 開演



世界中からオファーの絶えない指揮者、カーチュン・ウォンのマラー

PAC定期には3シーズン連続の出演となるカーチュン・ウォン。マラーの人生の中で最も充実していた時期に書かれながら、破滅的なラストを迎える交響曲第6番「悲劇的」を取り上げます。印象的に用いられるカウベル、終楽章に振り下ろされるハンマーなど、ステージ上の奏者の動きからも目が離せません。

マラー：交響曲 第6番 イ短調「悲劇的」

Gustav Mahler: Symphony No.6 in A minor, "Tragic"

カーチュン・ウォン(指揮)

日本フィルハーモニー交響楽団首席指揮者およびドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。2024年秋からは英国マンチェスターに本拠を置くハレ管弦楽団の首席指揮者兼アーティスティック・アドバイザーに就任することが決定している。シンガポール出身。



No. 156

2025. 1/17(金) 5:46PM 開演 18(土)・19(日) 3:00PM 開演

阪神・淡路大震災から30年。祈りを込めて歌う「千人の交響曲」

指揮・芸術監督
佐渡 裕
Yutaka Sado, Conductor & Artistic DirectorソプラノⅠ
並河寿美
Hisami Namikawa, Soprano IソプラノⅡ
小林沙羅
Sara Kobayashi, Soprano IIソプラノⅢ
小川里美
Satomi Ogawa, Soprano IIIアルトⅠ
清水華澄
Kasumi Shimizu, Alto IアルトⅡ
林 美智子
Michiko Hayashi, Alto IIバリトン
キュウ・ウォン・ハン
Kyu Won Han, Baritoneバス
妻屋秀和
Hidekazu Tsumaya, Bass

阪神・淡路大震災発生から30年の日に初日を迎える1月定期では、マラー8番「千人の交響曲」を取り上げます。PAC20周年イヤーの最初の定期演奏会でもあり、オーケストラや合唱も入ると総勢600名以上の大編成! マラーが「宇宙が響き始める」と表現した、極上の響きをご堪能ください。

※テノールは決定後、ウェブサイト等でお知らせします。

マラー： 交響曲 第8番 変ホ長調 「千人の交響曲」

Gustav Mahler: Symphony No.8 in E flat major, "Symphony of a Thousand"

並河寿美(ソプラノⅠ)

神戸出身。「トスカ」「蝶々夫人」「メリー・ウィドウ」等プロデュースオペラでも数々の題名役で成功を収め、文化庁芸術祭大賞はじめ受賞歴多数。大阪音楽大学特任准教授、二期会会員。

清水華澄(アルトⅠ)

『アイーダ』アムネリス、『ローエングリン』オルトルト等数々の卓越した演唱で高い人気を誇る。コンサートでも国内外の著名指揮者から信頼される歌唱を披露。二期会会員。

小林沙羅(ソプラノⅡ)

東京藝術大学大学院修了。12年ブルガリア国立歌劇場で欧州デビュー。18年NHKニューイヤーオペラコンサート等、様々な作品に出演。2019年第20回ホテルオークラ賞受賞。

林 美智子(アルトⅡ)

東京音楽大学卒業。新国立劇場オペラ研究所第1期修了。2003年国際三トロボロス声楽コンクール最高位入賞。第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。大阪音楽大学特任准教授。

キュウ・ウォン・ハン(バリトン)

ソウル出身。ベルヴェデーレ国際声楽コンクールはじめ多数受賞。アメリカ、アジアを中心に幅広く活躍。PACとは「レクイエム」、「天地創造」、「第九」等多数共演。

妻屋秀和(バス)

ライブツィヒ歌劇場、ワイマール・ドイツ国民劇場等の専属歌手を務め、国内でも新国立劇場、二期会、びわ湖ホール等で主要な役を演じるなど、日本を代表するバスとして活躍。

No. 157

2025. 2/21(金)・22(土)・23(日) 祝 3:00PM 開演

日本を代表するトロンボーン奏者、中川英二郎&アルミンクのブルックナー!

指揮
クリスティアン・アルミンク
Christian Arming, Conductorトロンボーン
中川英二郎
Eijiro Nakagawa, Trombone

クラシックのみならずジャズや映画、CMの録音など、幅広いジャンルで活躍するトロンボーン奏者・中川英二郎が、自身の作品である「Trisense」でPAC定期に初登場します。後半はブルックナーの人気作、交響曲第7番。作曲者と同じオーストリア出身のクリスティアン・アルミンクの指揮でお届けします。

中川英二郎：Trisense

Eijiro Nakagawa: Trisense

ブルックナー：交響曲 第7番 ホ長調 WAB 107

Anton Bruckner: Symphony No.7 in E major, WAB 107

クリスティアン・アルミンク(指揮)

小澤征爾らのもとで学び、ヤナーチェク・フィル首席指揮者、ルツェルン歌劇場、新日本フィル、リエージュ・フィルの音楽監督を歴任。2017年から広島響の首席客演指揮者を務め、2024年4月には同団の音楽監督に就任する。チェコ・フィル、ウィーン響、ボストン響、N響などと共演。

中川英二郎(トロンボーン)

5歳でトロンボーンを始め、映画、CM、TVなど多くの録音でも知られる。18年、J.アレッシラと「SLIDE MONSTERS」を結成。19年、豪メルボルンにて「International Jazz Day」に出演。読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等と共演し、ジャンルを超えて活躍している。

No. 158

2025. 3/7(金)・8(土)・9(日) 3:00PM 開演

ベルリン・フィル首席、シュテファン・ドール×注目の俊英、川瀬賢太郎

指揮
川瀬賢太郎
Kentaro Kawase, Conductorホルン
シュテファン・ドール
Stefan Dohr, Horn

シュテファン・ドールとの待望の共演! ドールが初演を務めた細川俊夫のホルン協奏曲、そしてモーツァルトのホルン協奏曲第3番と、時代の異なる2つのコンチェルトを演奏します。後半はシベリウスの生誕50年の祝賀演奏会のために書かれた交響曲第5番。川瀬賢太郎が導く躍動感あふれる演奏にご期待ください。

細川俊夫：ホルン協奏曲 - 開花の時 -

Toshio Hosokawa: Horn Concerto - Moment of Blossoming -

モーツァルト：ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447

Wolfgang Amadeus Mozart: Horn Concerto No.3 in E flat major, K.447

シベリウス：交響曲 第5番 変ホ長調 op.82

Jean Sibelius: Symphony No.5 in E flat major, op.82

川瀬賢太郎(指揮)

1984年東京生まれ。名古屋フィル音楽監督就任。これまでに指揮を広く上野一浩氏に師事。2006年東京国際音楽コンクール<指揮>において2位(最高位)に入賞。OEKパーマナント・コンダクター、札幌交響楽団正指揮者。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。

シュテファン・ドール(ホルン)

ベルリン・フィル首席ホルン奏者。エッセンとケルンで学び、パイロイト祝祭管、ベルリン・ドイツ響等の首席ホルン奏者を歴任。ソリストとして、アバド、パレンボイム、ティエリマンなど著名指揮者と共演。現代音楽にも意欲的で、新作初演も数多い。

NO. 159

2025. 5/23金・24土・25日 3:00PM 開演

**ミハイル・プレトニョフ(指揮)**

ピアニストとして世界の頂点を極め、指揮者や作曲家としても魔法のような驚くべき才能で、世界中の聴衆を魅了している。1990年ロシア・ナショナル管弦楽団(RNO)を設立。ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団ほか数々のオーケストラを指揮。

プレトニョフが贈る極上のチャイコフスキー

2023年芸術文化センター公演にピアニストとして出演したミハイル・プレトニョフが、指揮者として兵庫に帰ってきます! 前半はスーパーキッズ・オーケストラ出身で現在は国際的に活躍する前田妃奈を迎えてのヴァイオリン協奏曲、後半はプレトニョフが独自に編集した『白鳥の湖』。チャイコフスキーの名曲を存分にお楽しみください。

<オール・チャイコフスキー・プログラム>

Pyotr Il'yich Tchaikovsky:

ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35

Violin Concerto in D Major, op.35

バレエ音楽『白鳥の湖』(プレトニョフによる特別編集版)

Excerpts from the ballet "Swan Lake" (Pletnev special edition)

前田妃奈(ヴァイオリン)

2022年第16回ヘンリク・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール優勝及び4つの特別賞を受賞。大阪出身。「ホテルオークラ音楽賞」受賞。公益財団法人江副記念リクルート財団第48回奨学生。小栗まち絵、原田幸一郎、神尾真由子の各氏に師事。2011年から2020年までスーパーキッズ・オーケストラメンバー。

NO. 160

2025. 6/20金・21土・22日 3:00PM 開演

**ユベール・スターン(指揮)**

現在、東京交響楽団桂冠指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢の名誉アーティスト、ティック・アドヴァイザー。プザンソン国際指揮者コンクール優勝、カラヤン国際指揮者コンクール第2位などで認められオペラ、シンフォニー両面で国際的な活躍を展開。

ウィーンで活躍した作曲家たちの名曲に酔いしれる

名匠スターンが2シーズンぶりに登場。ウィーンで活躍した3人の作曲家の作品を取り上げます。シューベルトが19歳の頃に作曲した「交響曲第5番」、パリを拠点に活躍するピアニスト児玉桃を迎えてのハイドン、そしてベートーヴェンの名曲「田園」。古典派〜ロマン派の美しいメロディーを堪能できるプログラムです。

シューベルト：交響曲 第5番 変ロ長調 D485

Franz Schubert: Symphony No.5 in B flat major, D485

ハイドン：ピアノ協奏曲 二長調 Hob. XVIII:11

Franz Joseph Haydn: Piano Concerto in D major, Hob. XVIII:11

ベートーヴェン：交響曲 第6番 ヘ長調 op.68「田園」

Ludwig van Beethoven: Symphony No.6 in F major, op.68, "Pastorale"

児玉 桃(ピアノ)

J.S.バッハからメシアンを含む現代作品まで、幅広いレパートリーと豊かな表現力で活躍を続ける国際派。パリ国立高等音楽院に学ぶ。1991年、ミュンヘン国際コンクールに最年少で最高位に輝く。その後、ケント・ナガノ指揮ベルリン・フィル、小澤征爾指揮ボストン響などと共演。カールスルーエ音楽大学(ドイツ)教授。

開館20周年記念

NO. 161

2025. 8/8金・9土・10日 3:00PM 開演

**並河寿美(ソプラノ)**

神戸出身。「トスカ」「蝶々夫人」「メリー・ウィドウ」等プロデュースオペラでも数々の題名役で成功を収め、文化庁芸術祭大賞はじめ受賞歴多数。大阪音楽大学特任准教授。二期会会員。

第二次世界大戦の全ての犠牲者に捧げられた、反戦と平和への思いを込めたレクイエム

終戦から80年となる8月のプログラムに選んだのは、ブリテン「戦争レクイエム」。ラテン語の典礼文に加え、第一次世界大戦中に犠牲となった詩人オウエンによる詩が効果的に用いられ、反戦と平和への強い思いが込められています。佐渡裕芸術監督のタクトが生み出す渾身の演奏をお聴きください。

※テノールは決定後、ウェブサイト等でお知らせします。

ブリテン：戦争レクイエム op.66

Benjamin Britten: War Requiem, op.66

キュウ・ウォン・ハン(バリトン)

ソウル出身。ベルヴェデーレ国際声楽コンクールはじめ多数受賞。アメリカ、アジアを中心に幅広く活躍。PACとは「レクイエム」、「天地創造」、「第九」等多数共演。



PACを聴くなら

月に一度、マイ・シートで音楽に出会う楽しみを

定期会員券(9回通し券)が断然おトク!

「金曜通し券」「土曜通し券」「日曜通し券」をお選びいただき、同じお席で年間9回の定期演奏会をご鑑賞いただきます。

定期会員だけの特典はこちら!

特典 1

1回券よりも
お得な料金設定

特典 2

室内楽演奏会を
特別料金で

特典 3

オーケストラ紹介
パンフレットを進呈

特典 4

公開リハーサルへご招待

※定期会員券を複数セットご購入いただいた場合、公演リハーサルのご案内は購入者ご本人にのみ郵送いたします。予めご了承ください。



特典 5

PACオリジナル・
グッズをプレゼント



※イメージです。

定期演奏会料金表 (全て税込)

	定期会員券(9回)	1回券
A	¥32,400 (1回分単価 ¥3,600) ¥12,600おトク!	¥5,000
B	¥27,000 (1回分単価 ¥3,000) ¥9,000おトク!	¥4,000
C	¥19,800 (1回分単価 ¥2,200) ¥2,700おトク!	¥2,500
D		¥1,000

※D席は1回券のみの取り扱いとなります。 ※1回券は6月より順次発売を開始します。
※2024-25シーズンより入場料金を改定いたします。

発売日程

芸術文化センター会員先行予約

B席 C席

4/18(木)
10:00AM~

A席

4/20(土)
10:00AM~

一般発売

4/21(日)
10:00AM~

電話

芸術文化センターチケットオフィス
0798-68-0255

窓口

芸術文化センター2階総合カウンター
4/23(火) 10:00AM~残席がある場合のみ

インターネット

<https://www.gcenter-hyogo.jp>



※一度のご予約(お電話含む)でお取りいただける席数は2セットまでとなります。
※定期会員券の発売は5月末をもって終了いたします。期間内でも各日予定枚数に達し次第、販売を終了させていただきます。
※定期会員券をお求めいただくと先行予約会員にもご入会いただけます。

※2024-25シーズンより、1セット10枚で発券されます。1枚目は9回分の合計金額を記載したもので、入場券ではございません。ご来場の際は2枚目以降(各回の入場券)をお持ちください。

お問い合わせ

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM~5:00PM/月曜休み ※祝日の場合翌日]

※未就学児童の入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!

詳しくは、<https://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

